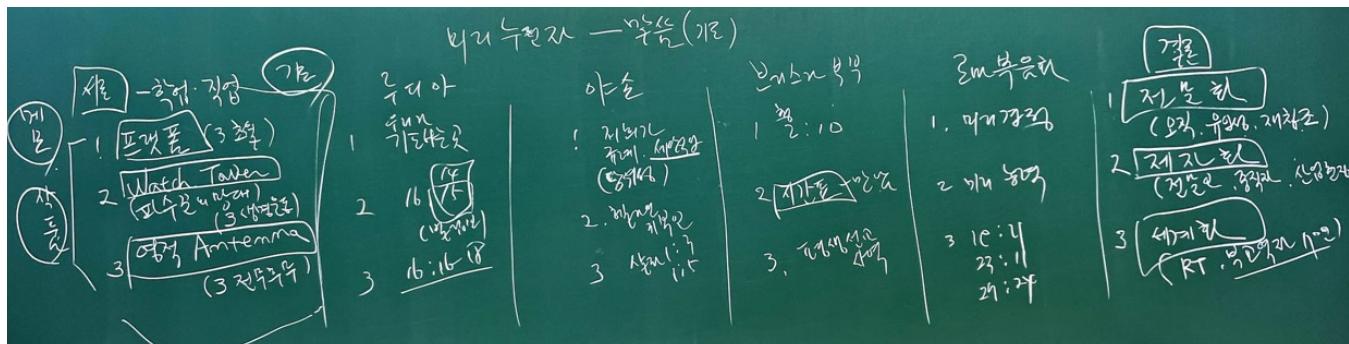


区分
核心
RTday題目 / 聖書
12月 学院福音化_あらかじめ味わった者 -みことば (祈り)講師
柳光洙牧師日時 / 場所
2021年 11月 20日 / 大邱ハナ教会

21.11.20 核心 RTday

あらかじめ味わった者 -みことば(祈り)

祈り

序-学業、職業

- 1. プラットフォーム (3超越)
- 2. Watch Tower (物見の塔) (3いのち運動)
- 3. 畏的 Antenna (3空前絶後)

メモ

作品

ルデヤ

- 1. 私たちが
- 2. 16:14-15
- 3. 16:16-18

ヤソン

- 1. 彼らが
- 2. 規定
- 3. Iテサ 1:3

プリスカ

夫婦

- 1. 使 2:10
- 2. 時刻表
- 3. 一生宣教

ローマ

福音化

- 1. あらかじめ
- 2. 決定
- 3. 23:11

結

専門化

(ただ、唯一性、再創造)

弟子化

(専門家、重職者、産業現場)

世界化

(RT, 副教役者70人)

要約

レムナントと世界を変えた人々はあらかじめ味わった人々であった。私たちの力では世界福音化は大変である。ある面では不可能である。ならば、何を持っていなければならないのか、あらかじめ握らなければならない。序論からキャッチするべきで、結論から出すべきだ。序論が確実で、結論が確実であるなら、その間に起きることはその時のメッセージである。

□序論_学業、職業に、神様が与えられた3つの祝福を作りなさい

1. **プラットフォーム** (3超越) – 3超越 (御座、時空、237光) のプラットフォームを作りなさい。そうすると、全世界がつながる。
2. **Watch Tower** (3生命運動) – 世界を見渡して、世界が来ることができるようにWatch Tower (見張り人の物見の塔) を作りなさい。私たちの中にある重要な3つのいのちの運動 (神のかたち、神様のいのちの息、エデンの園で征服し生きるように造られたこと) を見つけ出すならWatch Towerとなる。みことば

と祈りによって見つけるため簡単である。みことばを信じず、祈りを知らないなら不可能である。

3. **靈的Antenna** (3空前絶後) – 畏的アンテナを作りなさい。神様と他の人と仕事とすべてに靈的疎通がとれることを意味している。ここで、誰も奪う事のできない空前絶後の3つを発見するようになる。

▶この9つのセッティングの中で全てのことが出てくる。どんなに実力を備えたとしても、それをもって世界福音化はできない。

□結論_このような答えが来る

1. **専門化** (ただ、唯一性、再創造) – 専門化は、ただを見つけることである。9つのセッティングができるほど、ただが見える。すると唯一性の答えが来て、再創造をするようになる。
2. **弟子化** (専門家、重職者、産業現場) – 専門家を弟子化、教会では重職者を弟子化、産業現場を弟子化するのである、すると、勝つ。
3. **世界化** (レムナント、副教役者、70人) – レムナント、副教役者が世界化する。全ての副教役者は70人弟子を見つけなさい (70か所でみことば運動を繰り広げなさい)。これが、神様のみこころだ。初代教会が世界を掌握した方法である。このような副教役者を数百人作りなさい。そうしてこそ、世界福音化され暗やみが碎かれる。

▶事業も伝道と同じである。レムナントは私が受けた答えがこれ (結論) であることをあらかじめ知っていなければならない。ただ、唯一性、再創造は御座の祝福と9つがセッティングされた人だけが見るのである。レムナントは絶対にだまされてはならない。どんなに勉強して、給料を貰うようになってしまっても、それで世界福音化はできない。なので、みなさんの学業、産業に9セッティングの祝福を受けなさいという事である。すると、体系的にこのように (結論) なり、世界福音化するのである。

▶レムナントはいつでも序論・結論を持ってみことばを見て、祈らな

ければならない。

□ 本論_この祝福（序論、本論）を受けているなら、神様が隠されていた重要な出会いをくださり、この出会いは永遠の出会いとなる。

1 あらかじめ味わったルデヤ

1. 「私たちは祈り場に行き」－ここでルデヤと出会った
2. 使16:14、15（ピリピ）－みことばはパウロが伝えたが「主は彼女の心を開いて」ルデヤが「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか、私の家に来てお泊りください」これがピリピ教会となった
3. 使16:16－18医者、政治家、科学ができないこと（わざわい）をキリストの御名によって解決したこと

►レムナントはこの（序論）作品をつくりなさい。すると、この答え（結論）がくる。

2 あらかじめ味わったヤソン

1. 彼らは、いつもしているように、三つの安息日（当為性）－いつでも行く所のタイムを確定しなければならない。「私はここでこのような（序論）の答えを受けなければならないのだな。どのような作品を作ろうか」考えただけでも答えは来る。ここでイエスがキリストであるべき（当為性）ことを証明した。

2. ギリシャ人、貴婦人が起き上がり始めた。
3. 1テサ1:3、5－信仰、希望、愛が確実なテサロニケ教会、口だけではなく、力と聖靈と強い確信とによって。これが最高の答えを受けたテサロニケ教会であった。

►レムナントが動くところには後に重要なことが起こる。牧師方、先輩方、宣教師方と会うならば全て写真を撮っておいて記録しなさい。これが、大きな人物になるかならないかの差である。

►無条件にこの作品（序論）をつくりなさい。祈りの手帳にメモしない。受けた恵みをひとつの単語ずつでも記録して一か月したら読んでみなさい。重要な単語が出てきたら、次の月の祈りの手帳の前のページにでも記録してみなさい。一生の祈りの手帳を集めておい

て、次の世代に伝達しなさい。

3 あらかじめ味わったプリスカ夫婦

1. 使2:10 パウロと出会う前にあらかじめ福音を受けた人たちである。
2. 時刻表－出会い

神様が絶対的な時刻表に出会いのようにされた。祈りを知るなら、このような出会いがある。一生の道は出会いが全てである。出会いで多くのことが決定される。そのため、祈りなさいということである。

3. 一生の宣教の働きがこのように成されていく。「一生の宣教の働きをどうするべきなのか」もしもレムナントがこれを見たなら、レムナント7人のようになる。

►この祝福（序論）を知っているということは祈りを知っているのである。レムナントは自覚めたら祈りを始めなさい。健康であり、頭が良くならないといけないから、長く呼吸しながら祈り始めなさい。学校に行ったら、勉強もしなければならず、友達も待っている。心の中で祈りをもってそれを消化させる訓練をしなくてはいけない。後にものすごいものが見える。朝、昼、夜に少しだけ祈ってもリズムが生き返る。夜にはメッセージを握るのである。

►朝の時間、昼の時間、夜の時間を逃してはならない。朝には、心に思い浮かぶすべての事を祈りに変えなければならない。昼は全て見るものを祈りに変えなさい。夜には私を主の前に、メッセージの前に立たせるのである。すると、メッセージを逃さないようになる。

4 あらかじめ味わったローマ福音化

1. あらかじめ決定－ローマ福音化はあらかじめ味わって決定したのである。
2. あらかじめ力－神様がこのためにあらかじめ力をくださった。どのような力をくださったのかフォーラムしてみなさい。
3. 使19:21、23:11、27:24－ここから出てきた単語である。

►序論と結論が明確になっていないと、聖書を正しく解釈できない。絶対に逃してはならない。みなさんが作らなければならない作品（序論）！みなさんが作らなければならない答え（結論）！残りは

この間にある。レムナントは世界を生かす準備を神様がなさった。これを味わうだけでよい。

全文打ち出し

今あらかじめ味わった者－みことば（祈り）

レムナントと世界を変化させた人々は、あらかじめ味わった者です。勉強が幼いころから、とてもよくできて最高の大学を出たある弟子がいます。司法試験を合格した人材です。今、勤務して5～7年経ちます。そして、私に会いに来たので様々な話をする中で、聞いてみました。今、月にいくらもらっているのかと聞いてみました。そうしたら、560万ウォンもらっていると教えてくれました。最高の人材ですが、これくらいもらっているのです。ならば、これで世界福音化するのは大変でしょう。私のように熱心に（世界）回る人には交通費にもなりません。

では、本当に重要なことを知らないなら、どんなに大変な人生になるでしょうか。ものすごい人材がです。一般の人とは違います。幼いころから模範的な生徒で、幼いころから勉強は1位でした。そして、誰もが入れない大学に入って勉強をしてきました。そして、司法試験も誰もが合格できません。司法試験を合格して優秀な成績で仕事をしています。けれども、その額をもっては、世界福音化はできません。何を持っていなければなりませんか。レムナントはあらかじめ握っていなければなりません。

今日、私たちのカンボジアレムナント達がこのように報告して案内するのを見ました。カンボジアの方々は実はものすごい天才です。韓国語を話すのを見てください。どんなに上手でしょう。そうでしょう。けれども、カンボジアの力をもって世界福音化しようとすると大変ですね。ある面では不可能と言えるでしょう。まさに初代教会も何の力が無かったようにです。

□序論_学業・職業

なので、みなさんは序論から早くキャッチ（Catch）しなければなりません。そして、結論から下すのです。序論が確実で結論が確実なら、この間に起きることは、その時々のメッセージです。みなさ

んがどんなに成功しても、これが無いならいけません。みなさんの学業と、何かしらの職業が生じるでしょう。神様が与えられた祝福3つを作らなければなりません。

1. プラットフォーム（3超越）

プラットフォーム（platform）を作りなさい。御座、時空、237に対する3超越のプラットフォーム（platform）を作りなさい。これで良いのです。すると全世界がつながります。この奥義を神様がくださったのです。ここにいる全ての方が覚えなければなりません。レムナントではなくても、このプラットフォームを持っているなら、来るようになっています。

2. Watch Tower（見張り人の物見の塔）（3生命運動）

2番目に準備すべきことがあります。みなさんが世界を見渡すことができて、世界が来ることができますように見張り人の物見の塔を作らなければなりません。これ（Watch Tower）を、見張り人の物見の塔を。これがあれば見るようになります。そして、全世界を見るすることができます。何によって作るのでしょうか。私たちの中にある3つの重要なのちの運動があります。神のかたちに創造され、神様のいのちの息を吹き込まれ、エデンの園で征服し生きるように造られたのです。これ（3生命運動）を見つけるのです。これ（3生命運動）を見つけ出すならウォッチャワー（Watch Tower）となります。これ（3超越）を見つけ出すならプラットフォームになります。このとき、簡単なのは、みことばと祈りで見つけるから簡単です。なので、みことばを信じない人、祈りを知らない人は不可能です。

3. 畏的Antenna（アンテナ）

そして、みなさんがこれからは、この靈的な目でないと見えないことです。このアンテナ（Antenna）を作るのです。このアンテナは疎通することです。神様と他の人、仕事と全てのことが靈的疎通することを意味します。これは誰も奪えません。空前絶後の3つを発見するようになります。

この9セッティング（Setting）の中で全てが出てきます。みなさんが実力を備えることとは比較にはなりません、みなさんがどんなに

実力を持ったとしても、いつまでも仕事ができるわけでもありません。みなさんがアメリカの最高の大学で最高の勉強をしたとしても、韓国のお金で千万ウォンの月給をもらうのも大変です。それで、世界福音化はできないのです。そのため、神様がこの祝福をくださったのです。ならば、どのような結論が出てきますか。重要な結論が出てきます。

□ 結論

1. 専門化（ただ、唯一性、再創造）
2. 弟子化（専門家、重職者、産業現場）
3. 世界化（RT、副教役者、70人）

専門化、弟子化、世界化、この（序論）答えがこのように（結論）が出てくるのです。

1. 専門化（ただ、唯一性、再創造）

専門化は何を指して専門化なのでしょう。ただを見渡すようになります。あそこ（序論）から出ています。あれ（序論）がセッティングされるなら、される程、ただが見えます。ここには数えきれないことがあるので、心配することは何もありません。これをネフィリムに満たされたビル・ゲイツが、重要な発見をしたため、お金は本当にいくらでも持っています。ならば、唯一性の答えが来て、再創造するようになります。これが専門化です。あの答えはこの（序論）中にいてこそ出てくるのです。

2. 弟子化（専門家、重職者、産業現場）

すると、この弟子化は何でしょうか。専門家たちを弟子化するのです。教会では重職者を弟子化するのです。みなさん、産業現場を弟子化するのです。全て勝ちます。これなら、全て勝ちます。なので、産業される方は本当にこれ（結論）さえ分かるなら、世の中の言葉で、お金をうけます。そうですね。そしてこそ、教会に献金もして世界福音化もします。何もないならできませんね。全く難しくありません。

この弟子は使命のために出会ったために揺れません。弟子は利益や、損害を計算しません。弟子はへそを曲げたりもしません。そう

でしょう。弟子は試みにも会いません。何かに試みにあった。それは弟子ではありません。

この人たちが世界化をするのです。世界化もみなさんの事業も同じ事です。レムナントが世界化をするのです。先ほども言いました。副教役者たちも。全ての副教役者は70人弟子を見つけなさい。これが答えです。現場で70人弟子を見つけるということは70か所でみことば運動を繰り広げなさい。これが神様のみこころです。これが、初代教会が世界を掌握した方法です。このような副教役者を数百人作り出しなさい。そうでしょう。そしてこそ、世界福音化できます。他のことでは世界福音化できません。そしてこそ、暗やみが碎かれます。事業も伝道も同じです。私たちは靈的な使命があるために同じです。レムナントはあらかじめ知っていなければなりません。「あ。私が受ける答えはこれなのか？」

専門化という単語を誰もが使います。けれども、これ（ただ、唯一性、再創造）は誰もができません。これ（ただ、唯一性、再創造）は、御座の祝福と9つのセッティング（Setting）された人だけが見るのであります。本当に私を助けてくれる人が誰もいなくて、背景も無いのに、あの（序論）契約が見えたのです。何の背景も無くて、家系も駄目で、私の周囲には上手くいっているものは何一つありませんでした。けれども、福音を悟ったら、福音の中にあれ（序論）が見えたのです。なので、心配することもありません。人間中心主義を使う必要もありません。

ですから、頭の悪い人は私を「高慢だ」と言いました。高慢ではありません。高慢ではなく、それは必要ないです。なぜなら、人々は作戦やら、必要なら会いに行っておべっかを使いますが、私にはその必要がないのです。なので、私を見て「高慢である」と言わされました。私は少し高慢であると噂がたちました。とにかく、そう見えてしまったのは、私が悪かった点ですが、そう見えたかもしれません。なぜなら、私はその人たちが持っているものを私は好きではなかったからです。

なぜなら、あれ（序論）と反対となるものを持っているのです。なので、私が高慢だという声を聞くとしても近くにしてはいけませんね。なぜなら、価値のないものだからです。大部分の教役者たち、重職者までも、あれ（序論）と反対となるものを持っています。当

然、この（結論）の答えは来ません。ですから、当然、あがかなくてはいけないです。あがくと少し上手くいくよう、上手くいかないようにも見えます。それを、その人々は最善だと話していました。それがなぜ最善でしょうか。それを持って、これ（結論）がないから大変です。だから、戦わなくてはいけません。それを人々は「努力だ、最善だ」とかこのように言っていました。この単語は完全に違います。それがなぜ最善なのでしょうか。あがきであって。そうでしょう。それが競争でしょうか。それは完全に今、つらいのうめき声を出しているのです。死にゆく人がうめき声をあげているのに、それを音楽として聞くのはいけません。

絶対にレムナントはだまされてはなりません。みんながどんなに勉強しても、それをもって世界を動かすことはできません。これで。みんながどんなにおべっかを使って月給をもらっても、それで世界福音化はできません。どんなに一流大学を卒業して一流会社に入っても、それで世界福音化はできません。やっとのことでご飯を食べられるのです。なので、神様がみんなの学業、産業、全てをこの（序論）祝福を受けなさいと言われるのです。すると、体系的にこのように（結論）なるようになっています。すると、世界福音化するのです。

みことば（祈り）

では、レムナントはいつでも、この序論、結論を持ってみことばを見なければなりません。これ（序論、結論）をもってみことばを見て、祈らなければなりません。絶対に逃してはいけません。このときに、神様が出会いをくださいます。パウロは、重要な4人と出会いました。ここにみんなが一か月の間フォーラムする内容があります。誰と会いましたか。

【ルデヤ】

ルデヤと会ったのです。では、この（序論、結論）の祝福を受けていたら、この出会いが本当に永遠な出会いとなります。

【ヤソン】

2番目に誰と会ったのでしょうか。ヤソンと会いました。なので、もしもこの（序論）祝福を味わっていないなら、神様がこのような

人（ヤソン）に会えないようにされます。そうですね。考えてみてください。みんなが、みんなの子どもが重要な働きをしなければならないのに、変な友達と会うならそれを防ぎますね。この（ルデヤ、ヤソン）人々はパウロにけるべきで、他の人につけたらいけませんね。小賢しい計算をする人が来た。そこに任せてはいけません。物質がとても好きなような人には付けてはいけません。必ず覚えなければなりません。神様が隠しておいて、みんなと会わせるようにされるのです。

【プリスカ夫婦】

このように夫婦と会うようになります

【ローマ福音化】

そして、また何でしょう。神様はあらかじめ見るよう準備されました。そのときに、最高の答えであるローマ福音化を準備されました。

【1】ルデヤ

ここで、いくつか注意すべき、心に置いておくべきことがあります。

1. 祈り場

「パウロは祈り場があると思われた川岸に行き」とあります。これは、特別に祈り場を探しに行ったのか、祈るために行ったのか2つに一つでしょう。ここで、ルデヤに会ったのです。

2. 使16:14、15（ピリピ）

2番目にみんなが、フォーラムすべき内容です。特に14、15節です。みことばはパウロが伝えましたが、「主は彼女の心を開いて」とあります。なので、ルデヤがこう言いましたね。「私を主に忠実な者とお思いでしたらどうか、私の家に来てお泊りください。」このように。これが、ピリピ教会となったのです。すごい事です。

3. 使16:16-18

そのため、このときからピリピ教会になりますが、ものすごい事が1つ起きました。それが何でしょう。医者ができないことです。政治家もできないことです。科学もできないことです。わざわいが臨むところに科学は必要ありません。そうですね。わざわいが臨むところに政治は必要ありません。パウロがキリストの御名によって解決したのです。とても重要なことです。

作品

レムナントはいつも記憶しなさい。この（序論）作品を作りなさい。小さくても良いのです。すると、この（結論）答えが来ます。

【2】ヤソン

このような中で、神様はあらかじめ答えを受けたヤソンを持ってきてつけたのです。なので、神様が、見てください。ここでも重要なことは何でしょう。

1. 彼らは、いつもしているように、3つの安息日（当為性）

「彼らは」とあります。ここ（ルデヤ1番）には「私たちが」とあります。同じ人です。これが重要です。「彼らは」「いつもしているように」みんなが祈りの手帳に書いてあるのは後で見ればよいので、後でフォーラムする時に見てください。「3つの安息日にわたり」いつでも覚えていなくてはいけません。みんながいつでも行くところごとにタイムを確定しなければなりません。

今、中学生ですか。高校生ですか。今はどんなタイムですか。タイムをいつでも確定しなければなりません。みんなが海外に行く。タイムを確定しなければなりません。軍隊。2年。タイムを確実に。「私は何々をしてくる！」確定しなければなりません。また、ジョン・バニヤン（John Bunyan）のように、16年間監獄刑になった、タイムを確定しました。ただ待っているだけでは病気になって死んでしまいます。そこで16年生きなくてはいけないので、それを確定したのです。「よし。」天路歴程を記録しました。このようにみんな、とてもフォーラムすることが多いですね。

聖日に毎週礼拝を捧げに来るよう見えますが、みんなが6年、もっと正確に言うと3年です。中学3年、高校3年の3年。このタイムを確定しなければなりません。「私はここで、今この（序論）答えを受けなければならない。どのような作品を作ろうか」このように考えるだけでも答えが来ます。3つの安息日。とても重要です。ここでみんながよくご存じのように、「イエスがキリストです」とあかししたのではなく、「イエスがキリストであるべきこと」をあかししました。完全にさらに一つ上でした。当為性を主張しました。「イエスがキリストです」というのは伝道ですが、これをしっ

かりと証明しました。

2. ギリシャ人と貴婦人

ここを見てください。ものすごい事が起こりました。ギリシャ人と貴婦人。このような人々が起こり始めました。

3. テサ1:3、1:5

この人々が味わったことは、これがものすごい事ではなく、最高の答えを受けたテサロニケ教会、「信仰、希望、愛」これが確実であったテサロニケ教会。口だけではなくて、「力と聖靈と強い確信によって」これがテサロニケ教会です。

なので、レムナントが必ず覚えることは、みなさんが動くところには後に重要な働きが起こります。ですから、牧師に会ったこと、先輩に会ったこと、宣教師に会ったこと、すべて写真に撮って記録しておいてください。これが大きな人物になる人と、ならない人の差です。記録しておいてください。後にこれに答えが来ます。レムナントの答えは今来るのもありますが、それは、たいしたものではなく、後に来ます。無条件に、これ（序論）作品をつくりなさい。分かりましたね。

メモ

祈りの手帳にメモをしてください。無条件に受けた恵みをひとつの単語でも良いのです。時間が無いので長くする必要もありません。1単語ずつ。してみてください。すると、1か月経ったころに、一回くらいはこうめくって見てください。すると、重要な単語が出てくるでしょう。それを、次の月の祈りの手帳の前に記録してみてください。してみてください。とにかく、ただしてみてください。

食堂にも、私の秘書はただ行きません。メモをしておきます。すると、なんでも無いように見えますが、次に行くときに関連づけられます。私が聞いたりするときに、いつでも出できます。そうであるべきですね。「以前行った所どこでしたっけ」このように、秘書が言つたらいけませんね。なので、レムナントは生涯の祈りの手帳を集めておいて、次の世代に伝達しなさい。

こんな軍人もいます。ある軍人が祈りの手帳を2冊申請していました。1冊は自分が記録して残して、もう1冊は他の人にあげるのであります。けれども、この方は軍隊にいる間に自分の祈りの手帳一番最初

のだけ持って、残りは集めて置いておいたのです。よりによって、私たちのレムナントがそこに入隊したら、そこに祈りの手帳が並んでいたのです。奇跡なようなことですね。仏教信者が来るかもしれないのに。けれども、私たちのレムナントが行ったらそこだったのです。そのレムナントが告白してくれなかつたら、私も知ることはできませんでした。このレムナントはとても力を得たと言つてくれました。この祈りの手帳がなかつたら、本当にどうなつていたか分からない。とても力を得たと言つていました。

また、あるレムナントが私にこう告白しました。アメリカの本当に田舎に行ったのです。教会もないような所に行ったのです。けれども見てください。どこかに行ったときにレムナントの服を着ている人を見たのです。レムナントの服をどこかで作れるわけではありません。着ているのを見たのです。わき目もふらずに走つて行って「レムナントですか」と聞いたら「レムナントです」と。これは私たちが通じる単語です。「私もレムナントです」と。そして、この二人で地教会が始ましたのです。これがレムナントです。みなさん。

なので、このメモを無視しないでください。なぜなら、みなさんに答えは後々に続けてくるから、後悔するようになります。私はこれ（序論）を悟った後で続けて答えが来たのですが、多くのことを逃しました。なので、言つのです。「本当にかな。私みたいな人でも。」と私は考えていました。「伝道さえすればよいのでは」と。みなさんがいるということを考えられなかったのです。「伝道すれば弟子が起きて、レムナントが起きるだろう」こう考えてこれ（メモ、作品）がとても貴重であるとは知りませんでした。私はただ恵みによってこれ（序論）を見つけてただけなのですが、このように貴重であるとは知りませんでした。みなさんはしなくてはいけません。貴重な方々なので。

なので、私が1つをする時にこれ（メモ、作品）をなぜ言つのでしょうか。準備しておいてフォーラムしなさいということです。「私はこのように作品を作りました」フォーラムしなさい。これが重要です。聖書は聖書を見れば全てあります。みなさんの言葉が必要でしょうか。これ（メモ）を持っていてください。メモしたもの。みなさんが驚くでしょう。

3. プリスカ夫婦

そして、なんでしょうか。ある日、見てください。会つたのです。本当に驚くぐらい正確に会つたのです。

1. 使2:10

この人はパウロに会う前に、既に福音を受けた人でした。おもにパウロが福音を伝えた人が多いのですが、このプリスカ夫婦は既に福音を受けた人でした。

2. 時刻表一出会い

神様が絶対的な時刻表の中で会うようにされたのです。レムナントがこれ（序論）を知るなら、祈りを知つのです。みなさんが、祈りを知るならこのよう（時刻表一出会い）出会いが起きて、みなさんが生きる上で、出会いがどんなに重要でしょうか。みなさんが人生生きる上で、本当にお金を稼ぐ人に会つたなら、お金を稼ぐようになります。そうですね。音楽を専攻した人が、みなさんが持つている特有のものを現わしたら、それを開発できる人と会つたとしたら、奇跡のような事ではないでしょうか。これ（時刻表一出会い）が全てです。ここで、多くのことが決定しますが、みなさんはとても重要な出会いが残っています。なので、祈りなさいということです。なので、祈りを知つている人は9つの世界を味わうために退屈になりません。

3. 一生の宣教の働き

そして、何でしょうか。今、このように（一生の宣教の働き）となります。みなさんがフォーラムするべきことを話しています。一生の宣教の働きをどうするつもりですか。まずは伝道が少しできる、できないではなく。一生の宣教の働きをどうするつもりですか。もしも、これをレムナントが見たのなら、レムナント7人のようになります。

祈り

この（序論）祝福を知つているということは、簡単に言うなら祈りを知つているのです。レムナントは時間ありません。目が覚めたら、祈り始めてください。健康であるべきで、頭もよくならないといけないので、長く呼吸をしながら祈り始めてください。まずは、学校に行った。このときからは、また違つて一人ではありませんね。このときからは、ひとりでたくさん勉強しなければなりません

し、友人もいます。けれども、心の中ではそれを祈りによって消化させる訓練をしなければなりません。後に、ものすごい事が見えるでしょう。逃してはいけません。みなさんが学校に行って、友達の悪口を言ったり、いつもいたずらしてたら、学校でどんな祈りができますか。ここで、祈りで一度見てみてください。みなさんに驚くべきことが見えるでしょう。

私が1年間釜山で訓練を受けたのですが、2か月の間は何を考えたかと言うと、「ここで一体どうやって1年間いられるだろうか」こう考えました。けれども、すぐに回復してこう祈り始めました。すべての仕事、全ての事を祈りで始めるなら、他の人は分かりませんが、私とは別の世界になるのです。そうですね。けれども、この祈りをたくさんしたわけでもありません。続けて祈る中で、ある日、答えがきました。不思議な答えがきました。その人々を私が助けてメッセージするほどの状況に変わったのです。突然、私が呼ばれて行ってみると行政の仕事をしなさいと言われたのです。よいですね。訓練を受けなくてよいので。そして、私に教えてくれました。機密文書の担当であると。よいです。そのとき、私は好奇心も出てよいと感じました。暗号は毎週変わりました。それを疎通しなくてはいけません。とても重要な書類は司令部に私が持つて行かなければなりません。あるものは手紙で、そのときはあまり発展していなかったので、あるものは持つて行かなければならぬのです。そういうものを私は知るようになりました。この部隊は隊長室の中に機密文書を置くところがあります。なので、隊長とよく顔を合わせるようになりました。私と。これが、隊長に福音を伝える機会となりました。

なので、みなさんが今、朝、昼、夜に少し祈るだけでもリズムが生き返ります。すると夜には、メッセージを握るのです。これだけでも、良いのです。レムナントがたくさんのメッセージを聞いて伝達したりできませんね。そうする必要もありませんし、朝の時間には全て頭に思い浮かぶこと全てを祈りに変えてください。昼には全て目に見えることを祈りに変えてください。してみてください、これが奥義です。誰かが知っているのでもなく、してみてください。どんな答えが来るのかしてみてください。これ（結論）の答えがきます。そして、夜には何をしますか。夜には考えること、見えることではありません。私を神様の前に、メッセージの前に立たせるので

す。するとレムナントはメッセージを逃さなくなります。私は関心を持って見ています。レムナントの中でメッセージを逃したレムナントたちが後で、立ち上がるでしょうが、全て崩れます。どんなに苦しい環境の中にいてもメッセージを絶対に逃さないレムナントは、他の人が見て驚くくらいに答えがきます。あるレムナントが私にカカオで連絡してきました。「私は先週の牧師先生の説教を聞いてこう考えました」と来ました。「レムナントは現場で、ただを発見しなさいと言われましたが、私はここでこれを発見しました。まずは、アメリカ内にいるレムナントたちと共にメッセージと祈りを疎通することを、まずしなければならないと考えました」と。いいですね。この子が今、私が言いたいことは、私のメッセージを聞いているということです。そうでしょう。

ある人は重職者ですが私と面談すると、先週のメッセージの時に言ったことも全く知らないので「ああ。この人はメッセージを聞かないのだな」本当に困惑します。そうでしょう。他の教会の方ならまだしも、私の教会の重職者が私の説教を聞いていないということは、なぜ教会に来ているのでしょうか。聞いていない人はすぐに分かります。そうですね。

けれども、この子はメッセージを聞いたということが分かります。そして、このメッセージを適用しなくてはと考えたということです。これが重要なのです。それだけしたのに、みなさんはよく知っていると思います。アメリカの歴史上、韓国人として最年少教授として抜擢されました。チエ・ヨンソ教授です。アメリカで生まれて英語が上手な人でもありません。韓国で大学を出て、留学を行ったのです。けれども、神様がどれほどに働かれたのか、教授として選ばれました。私たちのレムナントです。今も、連絡がしばしば来ます。メッセージを逃していません。

レムナントは覚えていなければなりません。朝の時間、昼の時間、夜の時間を逃してはなりません。朝は忙しくて複雑で大変です。全ての考えを祈りに変えなさい。昼にはみなさんが学校や世の中に行ってみると、本当に水準が、まあ知っています。そうですね。私が昔、伝道に行ってみると、男子生徒のいる学校に伝道してみると、子どもたちの会話の全ての単語に悪口が入っています。私と話すときに汚い言葉を抜いて話そうとするので、言葉に詰まります。また、伝道を完全に

していたときに女子生徒を見てみると、授業中は大丈夫ですが、昼に行ってみると本当に女子生徒のクラスは鶏小屋みたいです。「ペチャクチャ」ここで信仰生活は大変ですね。これを見て、心の中で祈るのです。それだけでよいのです。するとある日、彼らがみなさんに助けを受ける状況が来ます。そして、夜に何をするのですか。メッセージを逃してはならない。これで良いのです。

[4] ローマ福音化

1. あらかじめ決定

既にローマ福音化はあらかじめ決めて決定したのです。

2. あらかじめ力

そして、神様がこれのためにあらかじめ力をくださったので、どんな力をくださったのかフォーラムをしてみてください。

3. 使19:21、23:11、27:24

ここから出てきた単語です。「ローマも見なければなりません」神様が仰せられました。「ローマでもあかしをしなければならない」神様が主の御使いを送られ言されました。「恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。」このように言われました。

ではこれを見てください。序論と結論が確実でなければ、聖書を正しく解釈できません。レムナントは絶対に逃してはいけません。みなさんが作らなければならない作品、みなさんが受けるべき答え、残りは間にあります。どんな本文であっても関係ありません。これから、どんな説教を聞いても関係ありません。これ（序論、結論）をもって聞かなければなりません。

私たちのレムナントに世界を生かす準備を神様がなさいました。味わいさえすればよいのです。お祈りします。

祈り

神様、感謝いたします。全国、世界のレムナントの靈的な目を開いてください。新しい力を与えてください。落胆したり、だまされないようにしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。